



鳴門市大津町段関のレンコン畑で、徳島県版レッドデータブックの絶滅危惧種Ⅰ類に指定されているミズアオイが青紫色の花を咲かせている。

水路の改修や除草剤の使用などで激減しているが、同地区では生育が盛ん。農業齋藤倫子さん(70)の畑には、高さ約40センチで房状の花を十数個つけたミズアオイが点在している。

徳島県立博物館の茨木靖学芸員によると、沼や湿地を好んで生え、県内では同市と徳島市の一部に分布。「水環境やレンコンの耕作のタイミングと合っているのかも」と推測する。

今が盛りのレンコン畑のミズアオイも、収穫準備が始まる週末から、レンコンの葉や茎とともに畑に敷き込まれ、来年の花期を待つ。  
(森丘幹也・写真も)